

令和5年度 学校法人玉名白梅学園 決算監査報告書

1. 日 時 令和6年5月21日（火） 午後 2:00～4:00
2. 場 所 玉名女子高校 応接室
3. 監査対象 令和5年度決算に係る事項
4. 監査期間 令和5年4月～令和6年3月
5. 監査内容 貸借対照表・収支計算書（資金収支、事業活動収支）
備品台帳・総勘定元帳・会計伝票・預金通帳等
6. 監査方法 学園側より事務長、会計担当者から概況説明
監事より聞き取り、決算書類の監査を行う。
7. 監査結果 帳票・関係書類及び証書類など、正確、明瞭に記録されており、
また現金、預金管理についても、正確であることを認める。
8. 所 感 新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたとはいえ、感染症防止対策を行いながらの教育活動・学校行事・部活動であった。
施設整備面では、国や県の補助金が活用されて、校内無線 LAN 工事、トイレの改修工事、体育館照明 LED 化工事が実施され、教育環境の整備が図られた。機器備品関係では、学年進行で iPad が導入された。すでに全ての教職員にノートパソコンと iPad が導入され、各教室にも大型のモニターが設置されているので、令和6年度の新入生に iPad が整備されると、当面目標にしていた ICT 教育環境が完成する。財政面については、校内無線 LAN 工事、体育館倉庫の修繕工事の支出など、支出の増加が見られたが、補助金等の活用など適切な対応がなされている。ただ、社会では脱コロナが進んでおり人流が活発になって、出張や生徒の大会等もコロナ以前に戻りつつある。結果、生徒活動費が予算を大きくオーバーして事業活動収支がマイナスになったことは反省しなければならない。少子化の中での厳しい生徒募集活動となり、令和6年度も昨年と同じ144名の新入生となった。3年前から漸次減少となっている。今後も安定した入学生を確保する事が大きな課題であると思われる。

令和6年5月21日

監事 村上 弘

監事 那須 信明